隆鼻術とは

隆鼻術とは、鼻を切開しプロテーゼと呼ばれるシリコン製の人工軟骨を挿入することで、鼻筋を高くしたり形を整える手術です。鼻筋が通ると顔が立体的になり、メリハリのある印象的な顔つきになります。

隆鼻術の持続性

隆鼻術は半永久的に効果が持続する整形です。鼻の中に直接プロテーゼを挿入する手術のため、術後に元に戻ってしまうことはありません。また、術後にデザインの好みや流行が変化した場合にはプロテーゼを除去することができます。（※除去は別手術となります）

隆鼻術後の状態・ケアについて

- ・当日と翌日は長時間の入浴はなるべく避け、軽いシャワー程度にしてください。術後1週間程度は血流が良くなることで腫れを防ぐため、熱いお風呂を避けていただくことをおすすめします。
- ・1週間後に来院していただき、抜糸を行います。
- ・抜糸完了までは、メガネやサングラスの着用をお控えください。
- ・メイクは可能ですが、最初のうちは周辺に触れる際はなるべく優しく、できる限り負担をかけないようにしてください。
- ・強い腫れは、1〜2週間程度で引いていき、その後も時間の経過と共に腫れが引きます。
- ・内出血については、個人差がありますが数週間前後で消失します。
- ・術後は、しばらくの間鼻に強い力が加わらないようにしてください。とくに術後1週間程は鼻や傷口周辺が不安定な時期のため、なるべく鼻に負担がかからないよう充分に注意して生活してください。具体的には、うつ伏せで寝る、鼻を押す、ぶつける、鼻をかむ、プロテーゼや傷口周辺を触るといった行為はできるだけ行わないよう充分ご注意ください。
- ・飲酒は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。
- ・運動は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、軽い運動は1週間、激しい運動は当面の間お控えください。

※左右差、腫れなど、気になる症状がある場合には1ヶ月程度様子を見てください。1ヶ月以上経過しても違和感が継続している場合、クリニックまでご連絡ください。

※授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

隆鼻術で生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】

鼻の周辺に内出血が生じる場合があります。最初は青黒い色みでその後黄色→肌色と変化していきます。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。

【痛み】

局所麻酔の注射時に痛みがあります。術中は麻酔の効果で痛みはありませんが、術後麻酔が切れると痛む場合があります。痛みがある場合は処方される内服薬をお飲みください。

【腫れ】

当日より若干の腫れが起こります。概ね2週間ほどで腫れは引いていきます。

【感染】

術後、感染が生じると傷口の治りが悪くなったり、腫れが強くなる場合があります。場合により、抗生剤の内服、プロテーゼの除去などの処置が必要となる可能性があります。

【肥厚性瘢痕（ケロイド）】

ケロイド体質の方は傷が治る過程で皮膚が盛り上がってしまう場合があります。その場合、別途瘢痕に対する治療が必要になります。

【変形】

挿入したプロテーゼが偏り、鼻の変形が生じる可能性があります。必要に応じて再手術を行います。

【皮膚の菲薄化、プロテーゼの露出】

手術により鼻の皮膚が薄くなり、プロテーゼが当たる部分の皮膚が発赤したり、プロテーゼが露出することがあります。

【しびれ】

手術により非常に細かく小さい神経を切ることがあり、術後痺れが残る可能性があります。多くの場合は3～4ヶ月で回復します。

隆鼻術をお受けいただけない方

妊娠中の方、親権者の同意がない未成年の方、鼻に怪我や炎症がある方、局所麻酔剤にアレルギーをお持ちの方は手術を受けられません。